

平成26年度
決算審査特別委員会



もっとあるといいな

- Q** アシスト電動自転車の利用度は。
- A** 現在5台で、3か月ごとの利用で貸し出ししており、空きは少ない。
- Q** もっと増やして欲しいと聞くが。
- A** 要望に応えられるよう見直しを検討したい。



千葉駅駐車場にあります

- Q** 宝くじの助成金は主にどこに使用しているのか。
- A** 自治会の掲示板設置に対する助成である。また、これまで西国街道の看板設置費用などに使っている。

決算審査特別委員会を9月14日から15日まで開きました。
この委員会は議員14人で構成し、町長をはじめ関係職員の出席を求め、各会計を慎重に審査しました。
審査の結果、いずれも賛成多数で認定することにしました。

- Q** 臨時福祉給付金の制度の周知はどうしているのか。
- A** 個別通知のほか、チラシ、広報誌、新聞などでPRしている。
- Q** 上下水道減免が増加しているが要因は。
- A** 障がい者や、寝たきりなどの高齢者が増えているため。
- Q** ウォーキング大会の参加者は海田町の住民だけか。
- A** この事業は安芸区と合同で行っているため、町外者も参加している。
- Q** 新規採用職員の自衛隊の体験入隊の成果は。
- A** 集団行動や規律を身につけるとともに、現在、災害派遣などで活躍している自衛隊の組織体制などに触れるといった点で、一定の効果があつた。

- Q** フェイスブックの活用がなされてないのでは。
- A** 活用が十分でない面があることは確かである。今後は、各課に活用を促し、行事などの事前のPRに力を入れていく。
- Q** 循環バスの利用が減少していることについてどう考えているのか。
- A** バスの到着時刻が分かるシステムの導入なども行っていることから、PRを十分に行い、利用促進につなげていく。

- Q** 防犯パトロール事業の実績は。
- A** 未成年者へ帰宅を促す声掛けを年間で382件実施した。また、自転車の無灯火、2人乗り運転への声掛けや、地下歩道の電球切れの通報、路上の泥酔者の通報など、多種多様なパトロール活動を実施している。
- Q** 徒歩での防犯パトロールを最近見かけなくなったが、やり方が変わったのか。
- A** 県の補助がなくなり、パトロールの時間数を減らした。巡視箇所数は減っていないが、車を降りて巡視する時間は減っている。

- Q** 環境センターで事故があつたが、意識改革はしているのか。
- A** 朝礼時に、安全マニュアルの唱和など、安全教育を実施している。
- Q** まちづくり
- Q** 中店小学校線道路新設工事の進み具合は。また、いつ頃を目標に完成する予定か。
- A** 現在、面積で83.9パーセントの用地買収を終えている。完成予定は広島市との協議も必要となるが、平成29年から平成30年頃を開通の目標にしている。

教 育

- Q** 小中学校安全管理事業の内容は。
- A** 登下校の見守りボランティアに対する腕章・帽子の貸与、ボランティア保険の加入と、新入生への防犯ブザー配布を行った。



撤去作業中

- Q** 町道管理事業の危険木伐倒処理業務の内容は。
- A** 町道8号線の道路上に大きな木が倒れてきたため、除いたもの。
- Q** 町営駐車場の空きがあるようだが、PRはどうしているのか。
- A** 広報でのPRは行っている。なお、過度なPRにより周辺の民間駐車場の経営に影響が出ないよう配慮している。

健康と福祉

- Q** 特定健康診査事業の受診者数は。
- A** 前年度と横ばいである。
- Q** 受診を進めるべきではないか。
- A** 年度後半でも促していく。
- Q** 母子家庭支援事業ではどのような資格を得ているのか。
- A** 正看護師(1名)と准看護師(2名)である。



3校合同あいさつ運動

- Q** 公民館の利用人数が減ったにもかかわらず、主催講座参加人数は微増したのはなぜか。
- A** 東公民館体育館が耐震工事によって65日間利用できなかったため。講座参加の微増は、各世代に合わせた講座を開催したことによる。
- Q** 図書館利用者が減ったのはなぜか。
- A** 修繕で1週間休館したことと、町外利用者が減ったため。
- Q** 心の元気を育てる地域支援の事業内容は。
- A** 西中・海小・西小が共同して、3校合同のあいさつ運動や、クリーン活動などに必要な消耗品の購入を行った。